※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編言語文化」（東京書籍）						
副教材等	これからの国語（尚文出版） 新訂版　最新国語便覧（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では課題に対して、自ら考え、周りの人と協力しながら学びを深める活動を行います。
・様々な時代の文章を読み、理解する力・想像する力・考える力を身につけましょう。
・話す・聞く・書く・読むことで、意思を伝え合うコミュニケーション能力を高めましょう。
・古文と漢文の名作・名文に親しみながら、日本人が代々培い伝えてきた心・価値観を再認識し、未来に生かす「温故知新」の意識を持って学びを深めましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。読まずに国語の力が付くことは絶対にありません。
・やむを得ず欠席した時は、すみやかに遅れを取り戻すようにしましょう。
・提出物の期限を守り、小テストは満点が取れるよう全力で臨みましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を継ぎのとおり育成することを目指す。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	高校国語を学ぶにあたっての基礎力を修得する ［教材］「高校国語への入門 漢字・語句中心の基礎固め」	a：常用漢字を的確に読み、書くことができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて的確に捉えている。 c：最後まであきらめず全ての問題に対して粘り強く取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	歴史的仮名遣いに慣れ、言語文化の継承や発展について理解を深める ［教材］「絵物資良秀」 「地獄変」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで文語の活用について理解し，学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	作品と自身を関係づけながら、ものの見方や感じ方を深め、言語化する手法を修得する ［教材］「枕草子」	a：平安時代の女流文学および随筆文学について正しく理解する。 b[読]：・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，学習課題に沿って，「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え，古今意義語について考えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	日本独特の感性について理解を深める ［教材］「さくら　さくら　さくら」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め，学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
二学期	短歌や和歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る ［教材］「柳あをめる」 「折々のうた」	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[読]：「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：進んで短歌の特徴や表現効果を理解し，学習課題に沿って，それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	自分の感じたことを古典的技法にならって短歌にする ［教材］「短歌を作る」	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。 c：進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し，学習課題に沿って，自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。			
	歌物語に描かれている内容を叙述を基に的確にとらえる ［教材］「筒井筒」	a：古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方，古典を元にした絵画・工芸について理解し，学習課題に沿って，各章段に描かれた内容を的確に捉えたり，和歌を書き換えたり，文章の内容を捉え直したりしようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	故事成語の元になった話を読み、漢文の読解に慣れ親しむまた和歌とはちがった漢詩の表現方法を理解する ［教材］「戦国策」「春暁」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：進んで訓読のきまりを理解し，学習課題に沿って，故事成語の元になった話を読み，故事成語の果たす役割について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	日本を代表する文学作品について理解を深める ［教材］「最新国語便覧」	a：日本の文学作品が描かれた歴史的背景を知り、より深い理解をする。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、日本の言語文化に対する理解を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 c：学習課題に沿って作品の考察を深めながら理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	登場人物の心の動きを読み取り動物や人の愛情の深さを感じ取る ［教材］「デューク」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：進んで文章の構成や展開，表現の特色などを理解し，学習課題に沿って，主人公の心情の変化を読み取り，表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
三学期	随筆に表れた作者の考えを的確にとらえる ［教材］「奥山に、猫またといふものありて」	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：「書くこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，自らの言葉でまとめることができる。 c進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。：	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１０　）時間
・読むこと　…　（　６０　）時間